

「アフリカの真珠」 ウガンダの観光の魅力

「その大きさ、さまざまな形と色、鳥、昆虫、爬虫類、動物などの華々しい生き物、広大なスケール——ウガンダはまさに『アフリカの真珠』である。」と元イギリス首相、ウィンストン・チャーチルは推奨しています。



マウンテンゴリラ



マーチソン・フォールズ



ルウェンゾリ山地

COVID-19パンデミック後、ウガンダはこれからも安全な旅行先です

ウガンダ共和国は、世界でも最も安全な旅行先のひとつであり、健康とおもてなしをお約束するメッセージを発信し続けています。

「アフリカの真珠」と呼ばれるウガンダ共和国は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）との戦いの後も、盤石な医療体制と計画書によって市民と観光客の安全を保証し、安全な旅行先であることを証明しています。2020年6月1日現在、国内ではCOVID-19による死亡例がありません。感染者の半数以上が回復し、社会生活に戻っています。

ウガンダへの旅行で 訪問すべきおすすめスポット

アフリカの中心部（東アフリカ）にある「アフリカの真珠」ことウガンダでは、アフリカ大陸で最も多様な野生生物の観察、ドラマチックな風景、そして夢中になれる文化体験をお楽しみいただけます。

ウガンダには、世界中のマウンテンゴリラの半数以上が生息しています。プウィンディ原生林でこの「穏やかな巨人」を観察するトレッキングは、世界でも上位に入るとおすすすめアクティビティのひとつです。

サファリをする機会は、10の国立公園の至る所にあるサバンナ、森林、湿地帯にあふれています。そのような場所で「ビッグファイヴ」と呼ばれるライオン、ヒョウ、サイ、象、バッファローのほか、キリン、シマウマ、チンパンジー、カバ、ワニ、そしてアフリカで見つかったすべての鳥種の半分以上と出会うことができます。

さらにウガンダの驚異的な自然の中でおすすめしたい場所は、雪をかぶったルウェンゾリ山地、ナイル川の源流を形成する広大なビクトリア湖、そしてマーチソン・フォールズ国立公園です。

日本人のウガンダへの渡航の再開は、両国間における入国制限が緩和されてからとなりますが、ウガンダは皆様をお迎えする準備を進めお待ちしております。